

2003
7

■編集 西区役所総務企画課広聴係
〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~226
FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」
FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



深い緑に包まれた三角山のふもと、登山道の山の手側入り口を過ぎると、左手にリンゴ畑が広がります。

西区で唯一のリンゴ農園を営む齋藤允雄さんは、昭和初期にこの地で農園を始めた父親の跡を継ぎ、五十年以上リンゴ作りに励んでいます。

環境にやさしい農業を心掛けた齋藤さんは、六十一年から本格的に減農薬・有機栽培に取り組み、昨年七月に札幌市内で初めてエコファーマー



エコファーマー札幌市内第1号

さいとう のぶお
齋藤 允雄さん(67)

山の手442番地 齋藤農園
TEL 621-6435

- ※1 草生栽培：果樹園の表土管理の方法の一つ。地表を植物で覆うことにより土壌浸食の防止や有機物の補給に役立てる。
- ※2 エコファーマー：平成11年に施行された持続農業法に基づき都道府県が認定した、環境保全型農業に取り組む農業者に贈られる愛称。



▲ 熱心に摘果作業に取り組む齋藤さん

まじめに面倒を見れば まじめないいリンゴができます。

の認定を受けました。

「二百本以上の木を絶えず見回って気を付けています。虫や病気が見えてからでは農薬の量を増やさなければいけなくなるんです」と語る齋藤さん。認定後はお客さんのためにより安全なリンゴ作りに心を砕くようになりました。

一番忙しい今の時期は、成長のいい実だけを残り、残りを一つ一つ丁寧に摘み取り、摘果作業を行っています。

リンゴ作りは機械化できず、すべてが手作業。熟練の技が必要で、市内の農園の多くは

後継者不足の状態です。齋藤さんの農園も例外ではありませんが、体力の続く限りは続けていきたいと言います。

子供のころの遊び場だった三角山に今は孫と一緒に登っているという齋藤さん。農地が住宅地になるなど、そこから見える景色はこの半世紀で姿を変えましたが、齋藤さんのリンゴ作りへの真剣な思いは変わることはありません。